



学校だより 夏休み号

令和5年7月20日

学校教育目標
自らがやき 友とかがやき かがやく未来を創る六つ川の子
(地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てます。)

六つ川小学校ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/muts>

見守るまなざし

校長 鐘江 ミサ

いよいよ明日から夏休みとなります。

この7月は、2日に、6年生3名が、昨年度、社会を明るくする運動の標語募集に応募した作品の表彰を受けました。社会を明るくする運動とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と立ち直りについての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動として長い歴史があります。その推進大会には、受賞の3人以外にも13名の6年生が、学校の代表として、リコーダーとバイオリン演奏を披露してくれました。

受賞した標語を紹介します。どの標語も、大切なことを伝えてくれています。

ルール知り 決まりを守って 行動しよう

悪口は ナイフなんだよ 気を付けて

あいさつで 町を明るく 照らそうよ



また、3日には、南区学警連（南区学校警察連絡協議会）7日には、学家地連（六つ川中学校区学校家庭地域連絡協議会）が行われました。南警察の方からは、今の南区児童・生徒を取り巻く状況や対応についての話があり、ネットトラブル、虐待、自転車利用等の話題が出ました。また、地域の方々には、子どもたちのために、今できることは何かの視点で率直な意見交換をしていただきました。今後の教育活動に新たな視点となりました。

11日には、4年ぶりに対面でスクールゾーン協議会が行われました。校外委員会の皆様が時間をかけてご準備いただきました資料をもとに、通学路の安全確保について、地域の自治会長様や保護者（PTA 役員・校外委員）の皆様を含め、南区役所、南土木事務所、南警察の方と話し合いをさせていただきました。すぐに改善できることは多くありませんが、去年の要望で設置を待っている箇所もあり、子どもたちや住民の方々の安全を多くの方と考えることは、とても重要なことだと実感しました。

コロナ禍から日常を取り戻すように、今まで紙面等で行われていたことが、対面で行えるようになってきました。今月は、社会全体や警察、地域、保護者の皆様が、未来を創る子どもたちを大切にしてくださっていることを、強く感じる事ができました。夏休みは、地域の方々の中で、子どもたちが育つ場面が多くあるかと思います。今までと同様、温かく見守っていただければありがたいです。

連日暑い日が続いております。災害や事故についての報道も多く、心を痛めることも多くあります。子どもたちにとっては、楽しい夏休みではありますが、保護者の皆様方には、児童の健康と安全にご留意いただきますよう、よろしく願いいたします。